

生協強化月間を盛り上げよう！

あかるいまち21

No.939号 2016年10月21日 組織部 TEL082-532-1264

	10月累計	4月～9月
組合員ふやし	84人	609人
出資金ふやし	1,325万円	6,288万円
純増	339万円	702万円

生協強化月間ひろば ※取り組み情報求む！

職場別加入数第1位10人五日市ST、第2位小児科9人、第3位6人福島3階病棟、生協総務部

認知症になっても安心のまちづくり



10/14（金）、中区北支部では生協強化月間スタート集会を兼ねて「認知症カフェの学習会」を開催しました。保健生協の石丸看護師講師に「認知症ってどんな病気なの？」から学んでいきました。認知症カフェとは、専門知識を有したスタッフが常住し、認知症の方やその家族の方が利用するサロンのことをいいます。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を進めていくためには認知症の方や家族

が気兼ねなく安心して集うことができる「場」が求められています。がその前に、地域に多くの方が認知症に対する正しい知識を学び、偏見を取り除いていく必要があります。

今回の参加者からは、そういう「場」がぜひ欲しい！という声をたくさんいただきました。支部としても話し合っていきたいと思います。

今回の参加者の最高齢は、足腰しっかり、しゃべりもバッチリの98歳！その秘訣は、趣味の「裁縫」にあります。この日も80歳代の方から洋服裾上げの依頼を受けておられました。

次はどこを歩こうか！？

10/14（金）、横川・三篠支部では、脳いきいきカフェ「碑めぐりウォーキング」（生協強化月間スタート集会を兼ねて）を開催しました。支部運営委員の渡部さんがガイドを務めてくださり、広島城周辺を歩いていきました。陸軍幼年学校跡や被爆ユウカリ、地下通信室内部などを見学しました。参加者からは「長い間広島で暮らしているけど、知らなかったことばかりだった。とっても勉強になりました。」「次はどこを歩こうか？」などの感想が寄せられました。

次回の脳いきいきカフェは11月11日（金）「絵手紙」です。心のこもった年賀状を一緒に作りませんか！？



協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

